

巻頭言『弱い紐帯と関係性の継続が導いたもの』副代表 知脇 希

皆さんにとっては初めての「外国人」の友人はどなたですか。私にとっては、千葉県の実習生として同じ施設で研修を受けたタイ人理学療法士が、初めての友人です。その時私は28歳でした。

青年海外協力隊から帰国しアジア理学療法学会で再会、教員だった彼女に「あなたが教員になったらその学校に行くからね」と言われました。思いがけず教員になった後報告、彼女は私の勤務先の大学を訪れるようになりました。ある年他大学の学科長を連れて来訪、それがきっかけでタイの大学生と日本人大学生の相互交流が始まりました。私が43歳の時です。

社会ネットワーク理論の一つに、「弱い紐帯 (weak ties) の強さ」があります。弱い社会的繋がりを持つ人のほうが有益な情報をもたらしてくれる可能性が高いというものです。同じ職場にいるような強い紐帯よりも遠いつながりにある人との弱い紐帯が、満足度の高い転職の情報をもたらすことが多かったという研究結果から導きだされたものです (Granovetter 1973) 。

15年前の出会いが大学の新規事業に繋がり、今も継続されています。彼女と私の関係性は弱い結びつきではありますが、軽くはなかったのだと思います。この国際リハビリテーション研究会は発足間もない研究会ですが、様々なアクターが集っています。この繋がりが継続され、新しい関係性が生まれ、新たな展開に繋がることを期待しています。

特集『国際リハビリテーション研究紹介』

本研究会会員が取り組んでいる、2件の国際リハビリテーション研究を紹介します。

ミャンマー・カレン州農村部に暮らす障害者の生活実態調査

河野 眞 (国際医療福祉大学成田保健医療学部)



AAR Japan [難民を助ける会] の全面的協力と科学研究費助成金を得て、標記調査を昨年度から3年計画で実施しています。

この研究では、途上国農村部の障害者の生活について社会参加を中心に捉える点だけでなく、数十年に及ぶ内戦を経たカレン州でポストコンフリクト期の障害者の生活を捉える点でも意義があると考えています。

ここまでのところ、政府という単一のオーソリティに依存しない生活が浮き彫りになったと感じています。それは、スコットが「ゾミア」で描き出した世界に似ていますし、レヴィストロースのブリコラージュを想起させる生活でもあります。

調査の果てにどんな光景に出会うのか、とても楽しみにしています。

国際リハカフェ開催！

寺村 晃（大阪大学人間科学研究所）

2019年6月16日、第一回国際リハカフェがひっそりと開催されました。参加していただいた協力隊関係や研究教育機関所属の方々、ありがとうございました。

今回、私が話をした内容は、フィリピン農村部在住の障害者のコミュニティ活動についてです。本研究は、協力隊時のニカラグアの経験を活かしたものとなっており、両国のコミュニティの差異や共通点を調査しています。

国際リハカフェは短時間の一方的な報告会ではなく、ゆったりとした雰囲気の中で参加者が意見や感想を出し、情報やアイデアを共有し、新しい視点を得られる場でした。ズバ抜けた国際分野の仲間と国際リハカフェの場で、あなたもまったりと近況報告をしてみませんか？



お知らせ

【国際リハライブ2019開催】

- ・開催日：2019年9月6日（金）18:30開始予定 会場：福岡国際会議場近辺または博多駅近辺
- ・テーマ「外国人患者へのリハビリテーション～国際リハ事例アーカイブス構築へ向けて」

【国際リハビリテーション研究会第3回学術大会開催】

- ・開催日：2019年11月9日（土） 会場：聖心女子大学4号館聖心グローバルプラザ
- ・テーマ「世界の多様性に貢献するリハビリテーション」 演題募集中！
- ・大会ホームページ <http://jsir-conference-2019.zohosites.com/>

コラム 大室和也の「せかいのめがね」

～大分編～

事務局担当の大室理事はハンガリーを拠点に世界中で活動を展開中です。このコラムではそんな大室理事のめがねを通じた世界の姿を毎号お届けします。

肥前の国というと、みなさんはピンとくるでしょうか。かつては「火の国」と呼ばれた地域のひとつで、現代では、概ね九州の北西部、佐賀県と長崎県にあたります▼私は今、職はAARのまま、佐賀県佐賀市で働いています。佐賀県というと、某魅力度ランキングで茨城県や徳島県などと下位を争っていたり、地味だの何もないだのと酷評され、挙句の果てには「頑張っている」という誰だか知らないがお認めの(…)言葉まで頂いたりしていることで有名な県です▼佐賀にきて1ヵ月。そんな印象で始めた佐賀生活だから、いいところばかりが目にとまります。歴史ある街、人あたりがいい、野菜が新鮮、おしゃれなカフェや懐かしい雰囲気の酒処もある。電気も水道もガスもある生活で、他に何が必要だろうか、と思うのです。強がりではなく…▼地方や田舎を楽しめるようになったのは、国際リハのおかげだなあとしみじみと感じます。まさに、「美しい景色を探すのではなく、景色の中に美しいものを見つけよ」という言葉の通りだなあと▼一方、国際リハで見る課題と類似点の多い地域にある課題。佐賀にもそれがあることが、少しずつ見えてきています。AARもその課題解決に一役買うことができれば何より。「その時、佐賀は世界を見ていた。そして今、佐賀は未来を見ています。（<https://www.saga-hizen150.com/>）」ードキドキするではありませんか。



町のいたるところに石像があります。私を見つけてください！

編集後記

梅雨寒の中、NL原稿から爽やかな他国の風を感じることができました。夏が待ち遠しいですね。（高橋恵里）

【研究会FaceBook】<https://www.facebook.com/pages/category/Nonprofit-Organization/>国際リハビリテーション研究会-1951070205159667/

【お問い合わせ】国際リハビリテーション研究会事務局 jsir.office@gmail.com

